



Japan Marketing Academy

## マーケティング授業における2つのPBLの関係

### — 授業実践の振り返り —

大阪国際大学 経営経済学部 経営学科 准教授

山本 誠一(やまもと のぶただ)

関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科 教授

佐藤 善信(さとう よしのぶ)

神戸学院大学経営学部 准教授

相島 淑美(あいしま としみ)

関西学院大学経営戦略研究科研究科研究員

出野 和子(での かずこ)

#### キーワード

プロブレム・ベースト・ラーニング, プロジェクト・ベースト・ラーニング, アクティブ・ラーニング, アクション・リサーチ

#### 本文要約

##### I. 問題の所在

本論文では、大阪国際大学経営経済学部経営学科の2020年度4月からの3年生の授業で実施されたPBL(Project-based Learning)の結果分析と一連のプロセスを研究対象とし、アクティブ・ラーニングと2つのPBLの関係から、日本におけるPBLの課題と可能性について考える。

##### II. 実際のPBLとそのプロセス

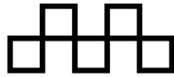
###### 1. 今回のPBLの概要について

大阪国際大学経営経済学部経営学科2020年度4月からの3年生の授業でPBLの授業を展開した。内容はクライアントの10年後のビジネス提案というテーマで、大阪の4つの大学が授業の中で取り組んだ結果を合同で発表会を行い、その内容を審査するというものである。

###### 2. PBLの具体的プロセスについて

PBLの進め方は各段階で制限時間を設け、出来ない場合も授業を進めた。そんな中不安な様子もあるが、時間をおいてもう一度考えさせることも今回のポイントであった。

また指導は、否定や修正から入るのではなく、考え方の多様性を認めた上でのアドバイスをを行い、積極的な思考や想像の拡張、その発言・発表の促進を行った。正解を求めない、完璧な提出物でなくてもいい、やりきることは今必要ない。自由な思考や発想のアウトプットを中心にPBLを進め



た。

### III. 実証授業(PBL)の振り返りと考察

結果, 観光賞を受賞することが出来た。また学生の評価アンケートを実施し, 課題は難しいと感じ, 新しいビジネス(価値)が簡単には見つからなかったが, 時間がない中で思い切った企画とは言えないが, プレゼン資料はなんとなくまとまったと思った学生が半数以上であった。

また締め切りが迫る中でアイデアが出た学生は半数を超え, フリーアンサーから「知恵を振り絞る」「追い込まれる」ということで出来たという結果がでた。

### IV. アクティブ・ラーニングと2つの PBL

PBL(Project-based Learning)は, アクティブ・ラーニング(以下, AL)の一種である。AL は学修者が能動的に学習に取り組む学習法の総称で, 本論文では, Barron et al. (1998)の2つの PBL, プロBLEM・ベースト・ラーニングとプロジェクト・ベースト・ラーニングの活用方法と, PBL の中におけるコーチングやペダゴジカル・タクト(pedagogical tact)論の必要性, またPBLにおいてインプロビゼーションの重要性について考えた。

### V. 日本における PBL の課題と可能性

PBL の経験学習サイクルを回転させ続けることが必要で, それはアクション・リサーチの様相を呈するようになる。その意味で, アクション・リサーチの一環としてPBLを構想することが必要とされる。日本では, 何よりも企業の協力がなかなか得られないために PBL の導入は困難であるが, 今回の試みの成果が起業家らの口コミで企業間に浸透し, 日本でも PBL が浸透することを願う。

### 主要引用文献

- Aishima, T., Sato, Y. & Yukawa, H. (2020). Characteristics of Japanese style of improvisation in business. *Kobe Gakuin University Journal of Business Management*. Forthcoming.
- Cuenca, A. (2010). Care, thoughtfulness, and tact: a conceptual framework for university supervisors. *Teaching Education*, 21(3), 263-78.
- Cunha, M. P., & Kamoche, K. N.(eds.)(2001). *Organizational improvisation*. London and New York : Routledge.
- Miner, A. S., Bassoff, P., Moorman, C. (2001). Organizational improvisation and learning: A field study. *Administrative Science Quarterly*, 46(2), 304-37
- Moorman, C., & Miner, A. S. (1998). Organizational improvisation and organizational memory. *The Academy of Management Review*, 23(4), 698-723.